

<be動詞>

- ・主語や時制によってam, is, are, was, wereを使い分ける。
- ・疑問文はbe動詞を文頭に出す。
- ・否定文はbe動詞の後にnotまたはI'm not, isn't, aren't, wasn't, weren'tを使う。

主語	現在形	過去形
I	am	was
you, we, they	are	were
he, she, it	is	was

<一般動詞(現在形)>

- ・be動詞以外の動詞を一般動詞という。
- ・主語が3人称(he, she, itなど)の時は動詞の後に-(e)sをつける。
- ・疑問文はDo [Does]+主語+動詞の原形~?の語順
- ・否定文は主語+do [does] not (don't / doesn't)+動詞の原形~.の語順

主語	現在形の文
I	肯定文: 一般動詞の原形
you, we, they	疑問文: Do + 主語 + 動詞の原形~? 否定文: 主語 + do not (don't) + 動詞の原形~.
he, she, it	肯定文: 一般動詞の後に-e(s)をつける。 疑問文: Does + 主語 + 動詞の原形~? 否定文: 主語 + does not (doesn't) + 動詞の原形~.

<三単現[三人称単数現在]の-s, -esのつけ方>

A 動詞の語尾に-sをつける。

[例] open→opens take→takes

B 語尾がch, sh, x, o, ssのとき、に-esをつける。

[例] go→goes wash→washes teach→teaches

C 語尾が「子音字+y」のとき、yをiにかえて-esをつける。

[例] cry→cries study→studies

※「母音字+y」のときはそのまま-sをつける。

[例] buy→buys play→plays

<一般動詞(過去形)>

- ・現在形のように、主語による区別はないが、動詞の後に-(e)dをつける
規則動詞と-(e)dをつけない不規則動詞がある。
- ・疑問文はDid + 主語 + 動詞の原形 ~ ? の語順
→ 答えの文はYes, 主語 + did. / No, 主語 + did not [didn't].
- ・否定文は主語 + did not (didn't) + 動詞の原形 ~ . の語順

<規則動詞の-d, -edのつけ方>

A 普通は、動詞の語尾に-edをつける。

[例] clean→cleaned finish→finished

B 語尾がeで終わっているときは、に-dだけをつける。

[例] close→closed live→lived

C 語尾が「子音字+y」のとき、yをiにかえて-edをつける。

[例] try→tried study→studied

※「母音字+y」のときはそのまま-edをつける。

[例] play→played stay→stayed

D 語尾が「短母音+子音字」のとき、語尾の子音字を重ねて-edをつける。

[例] drop→dropped stop→stopped

<「～があります[います]」の文>

①基本形: **There is [was] + 単数の主語 + 場所を表す語句.**



前置詞 + the + 名詞

There are [were] + 複数の主語 + 場所を表す語句.

②疑問文: **be動詞を文の先頭にもってくる。**

③否定文: **be動詞の後ろにnotをつける。**

命令文「～しなさい」、「～してください」

- 1 基本形: 文の最初は**動詞の原形** (be動詞の場合は**Be ...**)

[例] **Open** the window. (窓を**開けなさい**。)

Be quiet. (静かに**しなさい**。)

※前後にpleaseをつけると丁寧な言い方になる。

Please **be** quiet. [**Be** quiet, please.]

- 2 否定の命令文: **Don't + 動詞の原形**

[例] **Don't eat** it. (それを**食べてはいけません**。)

Don't be late. (遅れて**はいけません**。)

- 3 **Let's + 動詞の原形 ...** : 「(いっしょに)～しましょう」

<未来を表す表現「～だろう、～するつもりだ」>

① be going to + 動詞の原形～

→ be動詞は主語によって、am, is, areを使い分ける。

疑問文はbe動詞を文頭に置き、否定文はbe動詞の後にnotを置く。

② will + 動詞の原形～

→ 主語によって、willの形が変わることはない。

疑問文はwillを文頭に置き、否定文はwillの後にnotを置く。



will notの短縮形はwon't

<Lesson 1, 2の問題で使えるヒント>

- 否定の疑問文と答え方: 答えの文でNoが「はい」、Yesが「いいえ」となる。

[例] Aren't you tired? 「疲れていない？」

— Yes, I am. 「いいえ、疲れてるよ。」

No, I am not. 「はい、疲れてないよ。」

- look + 形容詞: 「～のように見える」 look young 「若く見える」
- turn + 色: 「～色になる」 turn red 「赤くなる」
- call [name] AB: 「AをBと呼ぶ[名づける]」 ※Bが名前
- make A + 形容詞: 「Aを～にする」 make me happy 「私を幸せにする」
- tell 人 the truth: 「人に本当のことを言う」
- ask 人 to 動詞の原形: 「人に～するように頼む」
- hear from ~: 「～から便りがある」

〈助動詞を含む文〉

①基本形：助動詞の後の動詞は必ず**原形**にする。

※疑問文は**助動詞を文頭**に置き、否定文は**助動詞の後にnot**を置く。

②助動詞の種類と意味

・can 「**～できる**」, 「**～してもよい**」

※「**～できるだろう**」→will be able to～

・may 「**～かもしれない**」, 「**～してもよい**」

・must 「**～しなければならない**」 = have [has] to～

「**～にちがいない**」

※「**～しなければならなかった**」→had to～

must not 「**～してはいけない**」

don't [doesn't] have to～ 「**～する必要はない**」

・should 「**～するべきだ**」

・will 「**～だろう**」, 「**～するつもりだ**」

③助動詞を用いた表現

- Can [May] I ~? 「～してもいいですか」
- Shall I ~? 「(私が)～しましょうか」
- Shall we ~ ? 「(いっしょに)～しましょうか」
= Let's ~
- Will [Can] you ~? 「～してくれませんか」
- Would you like ~? 「～はいかがですか」

< 進行形 >

①現在進行形: am, is, are + ~ing 「(今)~しています」

②過去進行形: was, were + ~ing 「(そのとき)~していました」

※疑問文はbe動詞を文頭に置き、否定文はbe動詞の後にnotを置く。

③-ingのつけ方

A: 語尾に-ingをつける。 play→opening study→studying

B: 語尾が発音しないeのとき、eをとって-ingをつける。 use→using

C: 語尾の2文字が「短母音 + 子音字」のとき、語尾の子音字を重ねて-ingをつける。 run→running swim→swimming

D: 語尾がieのとき、ieをyにかえて-ingをつける。 die→dying

< 受動態 >

①基本形: am, is, are, was, were + 過去分詞 (+by~) 「~される、~された」

※規則動詞(-edをつけるもの)の過去分詞は過去形と同じであるが、
不規則動詞(-edをつけないもの)の過去分詞はそれぞれ異なる。

疑問文はbe動詞を文頭に置き、否定文はbe動詞の後にnotを置く。

②受動態を含む表現

- be interested in~ 「~に興味を持っている」
- be covered with~ 「~で覆われている」
- be made of~ 「(材料)で作られている」
- be made from~ 「(原料)から作られている」

<現在完了形>

①基本形: **have [has]** + 過去分詞

②疑問文と否定文

→疑問文は**have[has]**を文頭に、否定文は**have[has]**の後に**not**を置く。

③用法と訳し方

(a) 継続: 「**(・・・から[の間]ずっと)~している**」

→この意味の文では、**for..., since..., How long**が共に使われる。

(b) 経験: 「**(今までに)~したことがある。**」

→この意味の文では、**ever, never, before, once, twice, ~times**などが共に使われる。

(c) 完了: 「**(今)~し終えたところだ、(もう)~してしまった**」

→この意味の文では、**just, already, yet**が共に使われる。